

社会に出て必要な数学的知識・論理的思考力を大学在学中に身に付けたい。  
数学が実社会でどのように使われているか知りたい。



早稲田大学には全学基盤教育「WASEDA 式アカデミックリテラシー」の数学科目に「数学基礎プラスシリーズ」をはじめとする科目群がある。また、全学オープン科目として履修できる数学及び数学関連科目もある。

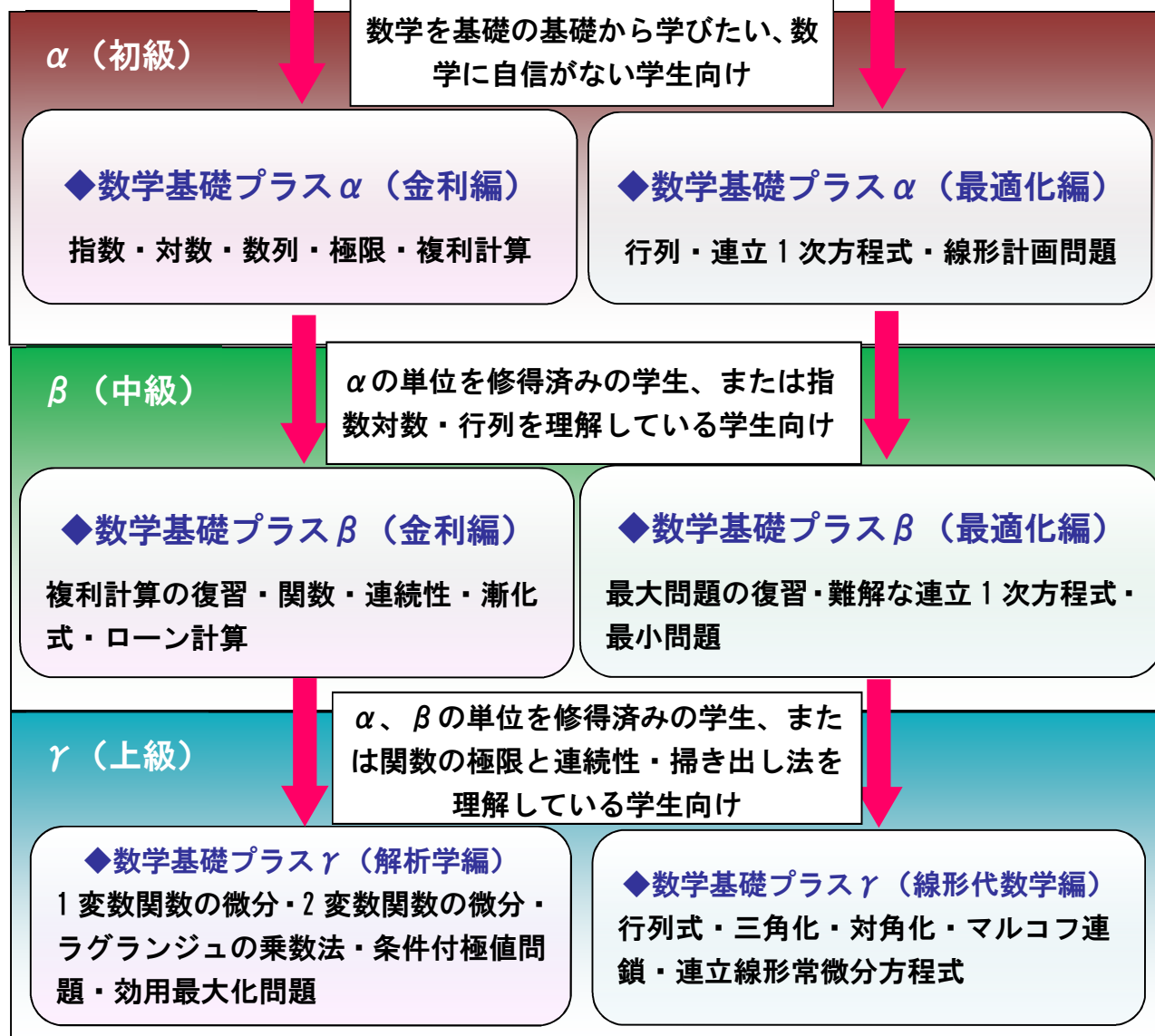
全学基盤教育、及び全学オープン科目の数学科目は、専攻を問わず、全ての学びの礎となり、今後社会に出てからも必ず役立つ力になる。身近な例として「金利の仕組み」や「最適化の仕組み」を知りたい、数学がどのように実社会に応用されているかを知りたいなら、「数学基礎プラスシリーズ」を受講してみるとよい。経済学や政治学、経営学、言語学などで用いられる「数学的な構造」について学びたい学生には、「視覚的に捉える群論入門」の受講を勧める。また、「ことばと数学(言語としての数学)」に興味があり、英語の文献の読み方や論理的な話し方・書き方を身につけたいなら、「数学と英語の読み方」や「ロジカルシンキング入門」を受講するとよい。どの科目群も特別な予備知識を仮定しないため、各自の興味に応じて、どこからでも学ぶことができる。

**金利** の仕組みを知りたい

**最適化** の仕組みを知りたい

**(数学的) 構造** を知りたい

**ことばと数学** を学びたい



◆視覚的に捉える群論入門

数学的な構造は、自然科学に限らず、経済学、政治学、社会学、言語学などにおいても必要とされている。このように、様々な場面に現れる数学的構造を解析する目的の一つは、共通に現れる「構造」を抽出し、現象のある部分を統一的に理解し、得られる情報を提供することである。本科目では、「あみだくじ」を用いて群を視覚的に捉えることにより、群の数学的構造を理解する

抽象的な数学の理論と身近な具体例の繋がりについて理解したい学生向け

◆英語と数学の読み方

数学ゲームなどの易しいテキストの内容を、実際にプレイすることなどを通じて学びながら、英語の文献を読むためのコツと、数学の論理展開の両方を身につける

英語や数学が得意ではないが、身につけたいと思っている学生向け

◆ロジカルシンキング入門

易しい数学の題材を使いながら、論理的な話し方・書き方を実地で学ぶ

論理的に話せるように/書けるようになりたい、プレゼンテーション能力を磨きたい学生向け